

小学校 図画工作

事例

6 学年 「わたしのランプシェード」 (絵や立体、工作に表す)

題材のねらい：「明かりで部屋を〇〇な感じにしたい」という思いを基に、自分だけの「〇〇なランプシェード」をつくることができるよう、光の感じを確かめながら工夫して表す。

「つくり、つくりかえ、つくる」が叶う場所

○本実践で見られた自ら学びを調整しようとする姿

- ・ 主題 (思い) を意識して、表し方を工夫する姿
- ・ 自身の力で、「つくり、つくりかえ、つくる」姿
- ・ 1つの作品をつくり終えても、次々に作品をつくり出す姿



こんな姿を引き出すために…

学習環境の工夫

図画工作科では、児童が自身の思いに合わせて活動を展開できるように環境を工夫することが重要となる。本題材では、児童が授業の中で、学び続けられるような仕掛けを随所に取り入れた。

- ・ **自分の意思で取りに行く「材料コーナー」**
使ってよい材料や用具を特定の場所に集めた。児童が取りに行く場面をつくることで、仲間の制作を見るきっかけとした。
- ・ **何度でも試せる場づくり「ミニ暗室」**
暗いところで光の感じを確かめることができる場所を用意した。児童は、何度も光の感じを確かめていて、「もっと〇〇な感じにするには？」という問いに向かって、取り組んでいた。



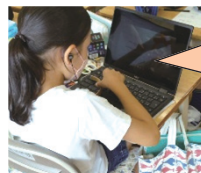
材料コーナー



ミニ暗室

こんな姿を引き出すために…

ICTの活用



ヒント動画

- ・ **困った時の強い味方「ヒント動画」**
事前に児童のつまずきを想定して作成した動画をクラウド上にアップした。児童は自身の必要性に応じて動画を視聴していた。
- ・ **学びの足跡「デジタルポートフォリオ」**
授業の終わりには、制作の経過を撮影し、学びを振り返った。
- ・ **作品のその後「1人1台端末の持ち帰り」**
持ち帰った作品を、部屋に置いて撮影してくる宿題を出した。



デジタルポートフォリオ



1人1台端末持ち帰り

事例 1

1 学年 「私がカメラで見た世界 私が心で見た世界」

題材の目標：風景や場所から感じ取った印象を基に主題を生み出し、それらのイメージをより強調させるように、アクリル絵の具を使って、表し方を工夫して絵に表す。

作品例の鑑賞で表現のウォーミングアップ！

○本実践で見られた自ら学びを調整しようとする姿

- ・ただ漠然と対象を描くのではなく、自身の感じた印象を主題として、そのイメージに近づいているかを何度も確かめて描く姿

こんな姿を引き出すために…

学習課題の工夫

- ・導入部で、風景や場所の写真を提示し、「自分だったら、どんな雰囲気の風景や場所にしてみたい？」と全体に投げかけた。一斉指導での生徒とのやり取りを通して、主題のもち方や工夫の仕方の一例を示し、ポイントを押さえた制作活動につなげた。



事例 2

3 学年 「魅力を伝えるパッケージ」

題材の目標：山梨の名産品がもつ魅力から主題を生み出し、よさを他者に伝えるためのパッケージのデザインを構想し、表現の意図に応じて創意工夫して創造的に表す。

ゴールまでの道は自分が決める、自分でつくる

○本実践で見られた自ら学びを調整しようとする姿

- ・名産品の魅力を伝えることから主題を生み出し、制作の見通しをもち、自分なりのプランをもって活動に向かう姿

こんな姿を引き出すために…

学習過程の工夫

- ・目標達成のために、どのような手順や方法で制作を進めるかを考えさせた。情報収集やアイデアスケッチ、仲間との意見交換等、自身の考えや必要性に応じて活動を選択できるようにした。
- ・ポートフォリオ型のワークシートで、取組計画等を振り返った。

